



## 令和4年災害概要（速報値）

令和4年（1～12月）火災・救急・救助の件数等の速報値を取りまとめましたので、公表します。

### 1. 火災

- 総出火件数及び死者・負傷者数ともに対前年比で増加。  
火災件数は、過去10年で2番目の多さとなりました。

(1) 火入れ（枯草焼き）やたき火（ごみ焼きなど）を主原因とする火災が、3月から6月までに12件発生。

例年、空気が乾燥する春において、行為者の想定を超える延焼が相次ぎ、林野火災及びその他火災が多発しています。総じて、屋外で火気を取扱う際の消火準備に対する認識や延焼を危惧する意識の低さが火災発生に至った要因と捉えています。

(2) 住宅火災による死者は3人。

住宅用火災警報器は、住宅への設置義務化から10年を経過しており、老朽化した住宅用火災警報器の交換など、適切な維持管理を行うことが重要です。点検・交換などの維持管理の重要性について引き続き普及啓発活動を行うとともに、防災製品及び住宅用消火器等による総合的な住宅防火対策を推進していきます。

### 2. 救急

- 救急出動件数及び搬送人員ともに対前年比で増加。

令和2年中は新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民の外出自粛等により、救急出動件数は減少していましたが、令和3年は再び増加に転じ、令和4年では過去10年間で2番目の多さとなりました。

### 3. 救助

- 救助出動件数、対前年比で大幅に減少。

これは、令和3年8月の大雨による風水害等自然災害によるものが大きく影響しています。出動件数は、過去10年間で2番目の少なさとなりました。

# 令和4年(1~12月)火災・救急・救助 概要(速報値)

【消防本部警防課】

## 1. 火災

### 令和3年と令和4年の火災件数等の比較

	令和3年	令和4年	増減数
総出火件数	18件	33件	15件
建物火災	8件	11件	3件
(うち住宅火災)	5件	7件	2件
林野火災	0件	3件	3件
車両火災	0件	3件	3件
その他火災	10件	16件	6件
火災による死者	1人	3人	2人
火災による負傷者	0人	1人	1人
住宅火災による死者	1人	3人	2人
うち65歳以上の高齢者	1人	3人	2人
原因別出火件数	18件	33件	15件
火入れ(枯草焼き)	6件	10件	4件
たき火(ごみ焼きなど)	4件	7件	3件
電灯・電話等の配線	0件	3件	3件
配線器具	0件	2件	2件
溶接機・切断機	0件	1件	1件
放火	1件	0件	△1件
たばこ	1件	0件	△1件
その他	3件	4件	1件
不明・調査中	3件	6件	3件

#### ● 総出火件数は33件、前年より15件の増加

総出火件数は、33件(前年18件)で、前年より15件増加(83.3%)しています。

火災種別で見ますと、建物火災・林野火災・車両火災が3件増加、その他火災が6件増加しています。

(※過去10年では平成30年の44件が最多、過去10年の平均は25.5件)

#### ● 死者数は3人、前年より2人の増加

火災による総死者数は、3人で、前年より2名増加しています。負傷者数は、1人で、前年より1人増加しています。火災による死者3人は住宅火災による死者で、3人とも65歳以上の高齢者です。

#### ● 出火原因の第1位は「火入れ」、第2位は「たき火」です。

総出火件数の33件を出火原因別にみると、「火入れ」10件(30.3%)、「たき火」7件(21.2%)、「電灯・電話等の配線」3件(9.1%)、「配線器具」2件(6.1%)、「溶接機・切断機」1件(3.0%)などの順となっています。

## 2. 救急

区分 年別	出動 件数 (件)	搬送 人員 (人)	救 急 事 故 種 別 件 数 (件)											
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
令和4年	1,527	1,425	1	1	0	81	25	12	269	2	14	964	155	3
令和3年	1,455	1,388	0	2	0	74	19	9	277	1	13	911	146	3
前年比較	72	37	1	△1	0	7	6	3	△8	1	1	53	9	0

### ● 救急出動件数と搬送人員

救急出動件数は1,527件（対前年比72件増、4.9%増）、搬送人員は1,425人（対前年比37人増、2.7%増）で救急出動件数、搬送人員ともに増加となっています。

### ● 事故種別の救急出動件数及び搬送人員

令和4年中の救急出動件数の内訳を事故種別ごとにみると、急病が964件（63.1%）、一般負傷が269件（17.6%）、転院搬送が155件（10.2%）、交通事故が81件（5.3%）などとなっています。

1日の平均出動件数4.2件（前年4.0件）であり、年間において市民約19.3人（前年20.2人）に1人の割合で救急搬送したことになります。（※令和4年1月1日現在住民基本台帳人口27,529人）

### ● 年齢区分別の搬送人員 約73%が65歳以上の高齢者

搬送人員の内訳を年齢区分別にみると、高齢者が1,041人（73.1%）、成人が306人（21.5%）、少年が37人（2.6%）、乳幼児が41人（2.9%）などとなっています。

### ● 傷病程度別の搬送人員 約38%が入院加療を必要としない傷病者（軽症）

搬送人員の内訳を傷病程度別にみると、軽症（外来診療）が536人（37.6%）、中等症（入院診療）が694人（48.7%）、重症（長期入院）が155人（10.9%）、死亡が34人（2.4%）、その他が6人（0.4%）などとなっています。

### ● 新型コロナウイルス感染症（陽性者）の救急搬送73人

新型コロナウイルスに感染した傷病者の搬送は73人（前年1人）でした。

### ● 熱中症による救急搬送は増加

5月から9月の熱中症による搬送人員は21人（前年11人）となり10人の増加となりました。

年齢区分別では、高齢者が最も多く12人（57.1%）、次いで成人9人（42.9%）となっています。

### 3. 救助

区分 年別	出動件数	活動件数	救助人員
令和4年	19	9	9
令和3年	37	18	29
前年比較	△18	△9	△20

※ 「救助人員」とは、救助活動により救助された人員のことです。

#### 救助出動・救助活動件

(単位：件)

区分 年別	出動件数	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	その他の 事故
	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数	活動件数
令和4年	19	12	0	1	0	1	5
	9	5	0	0	0	1	3
令和3年	37	7	0	22	1	0	7
	18	2	0	10	1	0	5
前年比較	△18	5	0	△21	△1	1	△2
	△9	3	0	△10	△1	1	△2

※ 「その他の事故」とは、出動したが誤報や山岳遭難への搜索活動等、他の事故種別に属さない事案への出動のことです。

#### 救助人員数

(単位：人)

区分 年別	救助人員	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	その他の 事故
令和4年	9	5	0	0	0	1	3
令和3年	29	2	0	19	1	0	7
前年比較	△20	3	0	△19	△1	1	△4

#### ● 救助業務の実施状況

救助活動の状況は、救助出動件数 19 件（対前年比 18 件減、48.6%減）で、実際に救助が必要であった救助活動件数 9 件（対前年比 9 件減、50.0%減）、救助人員 9 人（対前年比 20 人減、69.0%減）であり、風水害等自然災害を除き前年と比較すると、救助出動件数及び救助活動件数は増加し、救助人員は減少となっています。

#### ● 救助出動と救助活動件数

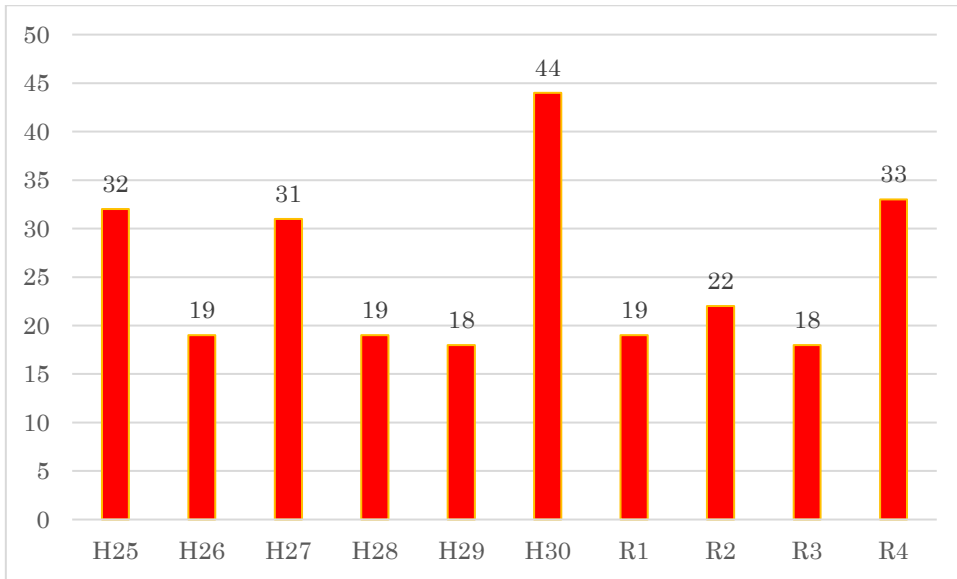
救助出動は、「交通事故」が 12 件（対前年比 5 件増）、「風水害等自然災害」が 1 件（対前年比 21 件減）、「建物等による事故」が 1 件（対前年比 1 件増）、「その他の事故」が 5 件（対前年比 2 件減）となっています。

救助活動件数は、「交通事故」が 5 件（対前年比 3 件増）、「建物等による事故」が 1 件（対前年比 1 件増）、「その他の事故」が 2 件（対前年比 3 件減）となっています。

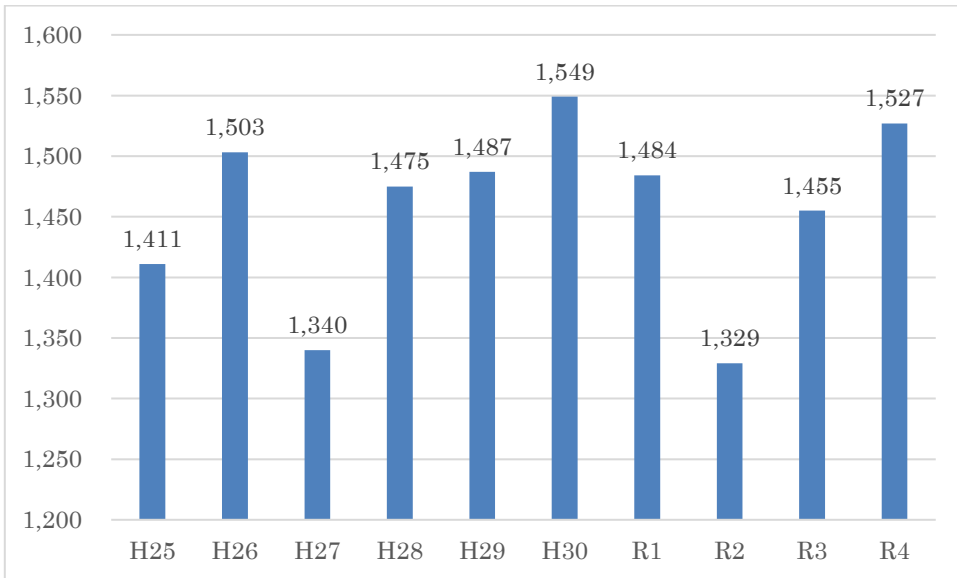
#### ● 救助人員

「交通事故」が 5 人（対前年比 3 人増）、「建物等による事故」が 1 人（対前年比 1 人増）、「その他の事故」が 3 人（対前年比 4 人減）、となり、「風水害等自然災害」は 0 人（対前年比 19 人減）となっています。

過去 10 年間の火災件数の推移



過去 10 年間の救急出動件数の推移



過去 10 年間の救助出動件数の推移

